

2026

No.112

山本左近 NEWS

令和8年 9月 4日 発行所：山本左近政策研究会

〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 Tel. 0532-21-7008 Fax. 0532-21-7003

112号

令和9年度予算概算要求
過去最大の約143兆円

8月31日各省庁の令和9年度予算の概算要求が出そろいました。要求総額は約143兆円となり、4年連続で過去最大を更新する見通しです。概算要求は、各省庁が翌年度に必要と考える経費を財務省に提出する、いわば**予算づくりの入口**です。で解説します。

《予算編成の流れ》

政府は7月30日に概算要求の基本方針を閣議了解しました。各省庁はこれに沿って8月末までに要求を提出し、秋以降、財務省の査定や各省との折衝を経て、12月に政府予算案が決まります。その後、通常国会で審議され、成立を目指します。つまり概算要求を見ることが、政府が来年度、何に重点を置くかとしていくのかが見えてきます。

《今年の大きな変化》

一つ目は、新設された「**強く豊かな日本**」投資枠です。危機管理投資や成長投資など、国内投資を通じて潜在成長率を引き上げる施策について、要求上限を設けず（シーリングなし）、複数年度の計画を基本として要求できる仕組みです。農林水産省では総額3兆1,37

7億円のうち4,272億円をこの投資枠で要求するなど、各省庁が新たな枠を活用しています。

二つ目は、「**補正予算依存からの脱却**」です。これまで補正予算で繰り返し措置されてきた恒常的な施策を、当初予算に計上する方向へ転換します。令和7年度補正予算と令和8年度当初予算の合計は約140,6兆円。今回の要求額が大きく見える背景には、こうした「補正から当初へ」の組み替えもあります。

《金利上昇で重くなる国債費》

もう一つ注目したいのが国債費です。令和9年度の要求額は**3兆6,386億円**と過去最大で、前年度から5兆3,628億円増。国債費の積算に使う想定金利も3.0%から3.8%へ上昇。必要な政策を進める一方で、金利上昇が財政に与える負担にも、これまで以上に目を向けなければなりません。《**143兆円に入っていない「事項要求」**》

さらに重要なのが、金額を示さず項目だけを要求する「**事項要求**」です。例えば、農林水産

省では、新たな水田政策、食料安全保障、国土強靱化、飲食物品の消費税率引下げへの対応など7項目が事項要求とされています。

防衛省でも、安全保障関連3文書の改定に伴う事業など、現時点で金額が入っていない項目があります。したがって、143兆円は決まった額でも、歳出の上限でもありません。事項要求が具体化すれば増える一方、財務省の査定で削られる事業もあります。

ここから年末に向けて、何を残し、何を重点化するのが予算編成の本番です。

私が大切にしたいのは、数字の大きさだけではなく、**その予算が地域の暮らしや産業をどう支えるのかという視点**です。農業、教育、インフラ、中小企業支援など、現場にはそれぞれ切実な課題があります。皆さまでからいたたく具体的な声を国政に届け、必要な政策や予算につなげてまいります。ぜひ、皆さまのご意見をお寄せください。

衆議院議員

山本左近



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



やまもと・さとし



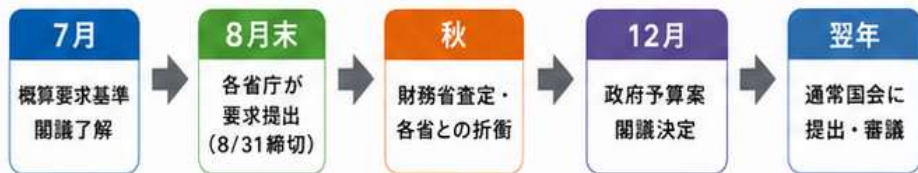
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

令和9年度 予算概算要求の全体像 概算要求総額：約143兆円（一般会計）

成長投資の加速と財政の正常化を両立し、未来への投資と持続可能な財政運営を実現

予算概算要求とは？

各省庁が翌年度に必要な経費を見積もり、財務省に提出する、予算づくりの入口です。



概算要求を見ることで、政府が来年度に何を重視するのかの方向性が見えてきます。

令和9年度予算の3つの柱

「強く豊かな日本」
投資枠の創設

GX・AI・半導体等の国内投資を促進し、潜在成長率を引き上げる。
要求上限（シーリング）を設けず、複数年度計画を前提とする新たな枠。

補正予算依存からの脱却



恒常的な施策は当初予算に計上し、財政運営の予見可能性を高める。
今年度は、前年の補正と当初の合計（約140.6兆円）を2～3兆円上回る水準。

経済・物価動向の的確な反映



賃金や関連価格の上昇を予算に反映し、経済実態に即した編成を行う。

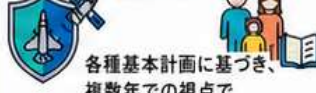
主要経費の要求ルール

社会保障費の自然増は
+0.39兆円

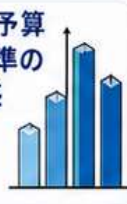
高齢化による増加分に加え、物価動向等も踏まえて対応する。

裁量的経費の
「+20%要望」を容認

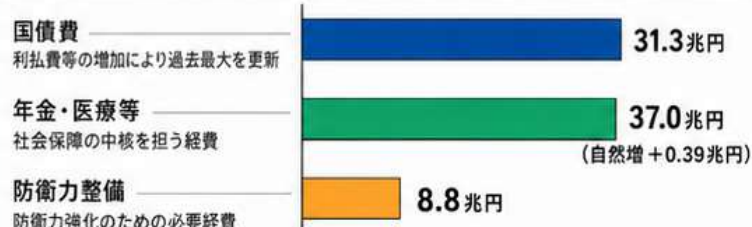
既存予算の優先順位を精査しつつ、新たな投資枠の活用を可能とする。

防衛力・こども施策の
重点化

各種基本計画に基づき、複数年での視点で所要額を適切に要求。

令和8年度当初予算
(122.3兆円) 基準の
主要経費規模感

令和8年度当初予算（122.3兆円）の主要経費規模感



総額：約143兆円

4年連続で過去最大を更新
（報道各社の集計ベース）

※これは「来年度予算が143兆円に決まった」という意味ではありません。

金利上昇で増加する国債費

国債費の要求額：

36.6兆円

（前年度比+5.36兆円）

〈想定金利（国債費の計算に使用）〉

3.0%

令和8年度

3.8%

令和9年度

過去最大の要求額に。

金利の上昇が財政に与える影響により一層の注意が必要です。

「事項要求」は143兆円に含まれていません

金額を示さず項目のみを要求する「事項要求」は、今後の予算編成過程で検討されます。

（例）農林水産分野の事項要求（7項目）

- ・新たな水田政策の実施経費
- ・食料安全保障の強化
- ・国土強靱化の推進
- ・飲食料品の消費税率引下げへの対応 など

事項要求に値段がつけば増額要因となりますが、査定により削減される事項もあります。

年末に向けてのプロセス（これからが本番）



地域の声を国政へ

皆さまの現場の声を届け、本当に必要な政策・予算の実現に全力を尽くします。ご意見・ご要望をお寄せください。

（注）金額は各省庁の概算要求ベース（令和7年8月31日時点）。今後の査定・組替えにより変動する可能性があります。

出典：財務省「令和9年度予算の概算要求の基本方針について」（令和7年7月30日）等を基に作成



9月に入り、夏休みが明けて通学する学生さんの姿も戻り、駅前の様子も普段通りとなってまいりました。まだまだ暑い日が続くと思っていたところ、急に天候が不安定になりそうです。皆さま、くれぐれもお気をつけてください。



各企業さんへ訪問させていただいています。お話を伺いながら、景気、物価高や価格転嫁の状況など現場の声を聞かせていただいています。花き農家さんの声もたくさん聞かせていただき、しっかりと対策予算につなげられるよう声を届けてまいります。

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ



党の知的財産戦略調査会・コンテンツ戦略小委員会の合同会議にて、有識者ヒアリング。今回は友人でもあり、『怪物』『ゴジラ-1.0』などを手がけた映画プロデューサー・山田謙司さんにお越しいただき、映画業界の現状と展望についてお話しいただきました。



英国大使館にて、駐日英国大使コリン・ロバートソン閣下が主催する「ウクライナ復興・復旧に向けた日英連携パネルディスカッション」に出席しました。大使とは、ウクライナへの支援や理解について、また変化する国際社会の中で日英が協力を深めていくことの重要性についてじっくりと語り合いました。お招き感謝申し上げます。